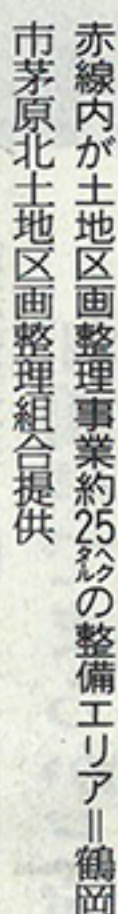


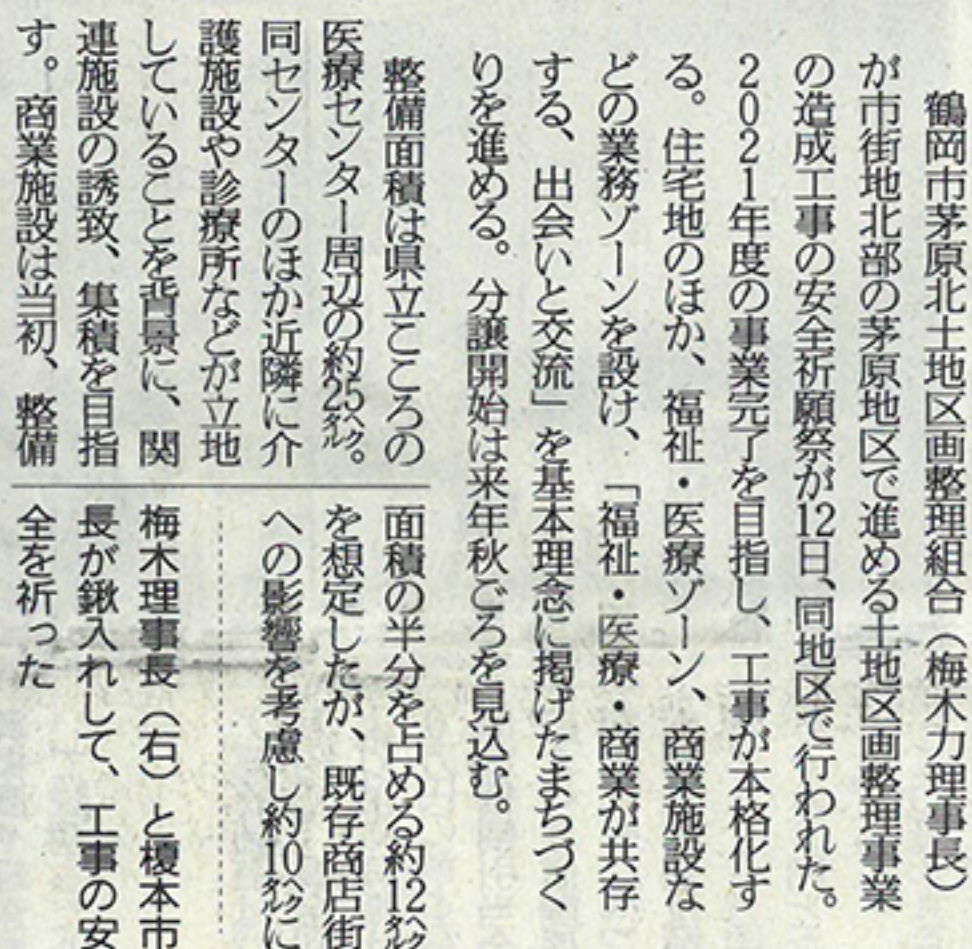
莊肉日報

12月14日(水)

# 来年秋に分譲開始



## 安全祈願祭



また、店舗併用住宅やオフィス併用住宅を誘導し、近頃の「サイエンスパーク」の動きも視野に若手起業家らを含む多様なニーズの住宅需要の受け皿とする。一般向け住宅用地は約200戸分の整備を計画している。総事業費は39億5800万円。国や県、市が計約6億円を助成する。区域内には区画道路のほか幅18メートル長さ94.5メートルの都市計画道路鶴岡駅茅原線、街区公園

安全祈願祭には、組合や県、市、施工業などの関係者約40人が出席。梅木理事長と榎本政規市長が鍬入れを行い、工事の安全と早期の完成を祈った。祈願祭後、梅木理事長は「ようやくここまでたどり着いた。既存宅地は住宅が増え、空き地が全くない状況になっており、今回の土地区画整理事業で若い人を呼び込んで活気あるまちづくりを進めていきたい」と話した。